

美作監査第37号
平成30年8月27日

美作市長 萩原 誠司 殿

美作市監査委員	東内	義典
美作市監査委員	高田	修平
美作市監査委員	山本	雅彦

平成29年度美作市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された平成29年度美作市公営企業会計決算及び各証書類その他関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

平成29年度

美作市公営企業会計決算審査意見書

美作市水道事業会計
美作市病院事業会計
美作市下水道事業会計

美作市監査委員

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	美作市水道事業会計	2
	(1) 事業概要	2
	(2) 予算の執行状況	2
	(3) 経営成績	4
	(4) 財政状況	6
	(5) むすび	8
2	美作市病院事業会計	9
	(1) 事業概要	9
	(2) 予算の執行状況	9
	(3) 経営成績	11
	(4) 財政状況	13
	(5) むすび	15
3	美作市下水道事業会計	16
	(1) 事業概要	16
	(2) 予算の執行状況	17
	(3) 経営成績	22
	(4) 財政状況	25
	(5) むすび	27

- (注) ① 説明文中の金額は原則として万円単位で表し、万円未満については四捨五入した。
このため計数が一致しないことがある。
- ② 比率・割合は、原則として小数点第2位を四捨五入した。このため計数が一致しない
場合がある。
- ③ 各表中比較増減の減は、△印で表示した。
- ④ 1.事業概要、2.予算執行状況は消費税込みで示し、3.経営成績、4.財政状況は消費
税抜きで表示した。
- ⑤ 「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。
- ⑥ 「-」は、該当数値のないもの、又は算出不能なものである。
- ⑦ 「皆増」は、前年度に数値がなく全額増加したものである。
- ⑧ 「皆減」は、当該年に数値がなく全額減少したものである。

平成29年度美作市公営企業会計決算審査意見

第1 審査の対象

平成29年度 美作市水道事業会計決算

平成29年度 美作市病院事業会計決算

平成29年度 美作市下水道事業会計決算

第2 審査の期間

平成30年7月17日から平成30年8月27日まで

第3 審査の方法

審査にあたっては、都市監査基準に準拠し、各会計歳入歳出決算書及び付属書類が関係法令に適合して作成されているかどうかを確認し、これらの計数について関係諸帳簿及び関係資料を照査し、担当職員の説明を聴取して比較分析等の検討を加えて審査した。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及びその他関係諸帳簿等はいずれも関係法令に準拠して作成され、計数は符合し正確であり、予算の執行はおおむね適正であることを認めた。

なお、各事業の決算概要及びこれに対する審査意見は次のとおりである。

1 美作市水道事業会計

(1) 事業概要

1年間の業務実績は次表のとおりである。

年度 区分	単位	29	28	増 減	対前年度比
給 水 人 口	人	20,441	20,744	△ 303	98.5%
加 入 戸 数	戸	11,162	11,224	△ 62	99.4%
給 水 戸 数	戸	9,893	9,929	△ 36	99.6%
給水中止戸数	戸	1,269	1,295	△ 26	98.0%
総 配 水 量	m ³	3,231,324	3,095,816	135,508	104.4%
有 収 水 量	m ³	2,484,612	2,461,352	23,260	100.9%
有 収 率	%	76.89	79.51	△ 2.62	

(2) 予算の執行状況

当年度の予算執行状況は次のとおりである。

① 収益的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
水 道 事 業 収 益	637,160,000	611,644,674	96.0	△ 25,515,326
営 業 収 益	609,120,000	582,804,075	95.7	△ 26,315,925
営 業 外 収 益	28,040,000	28,840,599	102.9	800,599

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率	不用額
水 道 事 業 費 用	644,310,000	567,317,276	88.1	76,992,724
営 業 費 用	604,198,000	532,068,920	88.1	72,129,080
営 業 外 費 用	36,512,000	34,847,693	95.4	1,664,307
特 別 損 失	600,000	400,663	66.8	199,337
予 備 費	3,000,000	0	—	3,000,000

収益的収入決算額 6 億 1,164 万円の内訳は営業収益 5 億 8,280 万円、営業外収益 2,884 万円であり、予算額 6 億 3,716 万円に対し 96.0%の収入率になっている。

収益的支出決算額 5 億 6,732 万円の内訳は営業費用 5 億 3,207 万円、営業外費用 3,485

万円、特別損失 40 万円であり、予算額 6 億 4,431 万円に対し 88.1%の執行率である。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
資 本 的 収 入	4,082,000	11,728,400	287.3	7,646,400
出 資 金	842,000	842,000	100.0	0
負 担 金	3,240,000	10,886,400	336.0	7,646,400

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	執行率	不用額
資 本 的 支 出	321,443,000	237,152,677	0	73.8	84,290,323
建 設 改 良 費	258,900,000	174,610,240	0	67.4	84,289,760
企 業 債 償 還 金	62,543,000	62,542,437	0	100.0	563

資本的収入決算額 1,173 万円の内訳は出資金が 84 万円、負担金が 1,089 万円で、予算に対する収入率は 287.3%となっている。

資本的支出決算額 2 億 3,715 万円の内訳は建設改良費が 1 億 7,461 万円、企業債償還金が 6,254 万円で、予算に対する執行率は 73.8%である。

(3) 経営成績

① 損益計算書

当年度の経営成績は、次のとおりである。

損 益 計 算 書

(単位：円・%)

科 目	29		28		対前年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減率
営 業 収 益	540,505,688	94.9	528,208,165	94.5	12,297,523	2.3
給 水 収 益	511,036,240	89.8	505,431,580	90.4	5,604,660	1.1
受 託 工 事 収 益	10,737,831	1.9	2,330,270	0.4	8,407,561	360.8
その他の営業収益	18,731,617	3.3	20,446,315	3.7	△ 1,714,698	△ 8.4
営 業 費 用	519,288,600	96.5	495,390,383	95.8	23,898,217	4.8
原水及び浄水費	65,118,105	12.1	58,286,083	11.3	6,832,022	11.7
配水及び給水費	59,041,443	11.0	73,699,829	14.3	△ 14,658,386	△ 19.9
受 託 工 事 費	11,610,000	2.2	2,472,000	0.5	9,138,000	369.7
総 係 費	158,324,450	29.4	144,212,498	27.9	14,111,952	9.8
減 価 償 却 費	201,829,579	37.5	199,234,412	38.5	2,595,167	1.3
資 産 減 耗 費	22,126,293	4.1	16,948,511	3.3	5,177,782	30.6
その他営業費用	1,238,730	0.2	537,050	0.1	701,680	130.7
営 業 利 益	21,217,088	—	32,817,782	—	△ 11,600,694	△ 35.3
営 業 外 収 益	28,840,599	5.1	30,700,137	5.5	△ 1,859,538	△ 6.1
受取利息及び配当金	561,127	0.1	746,328	0.1	△ 185,201	△ 24.8
他 会 計 補 助 金	3,921,000	0.7	3,691,000	0.7	230,000	6.2
長期前受金戻入	24,038,179	4.2	26,262,809	4.7	△ 2,224,630	△ 8.5
雑 収 益	320,293	0.1	0	0.0	320,293	皆増
営 業 外 費 用	18,576,572	3.5	20,795,567	4.0	△ 2,218,995	△ 10.7
支払利息及び企業債取扱諸費	18,511,393	3.4	20,721,702	4.0	△ 2,210,309	△ 10.7
雑 支 出	65,179	0.0	73,865	0.0	△ 8,686	△ 11.8
経 常 利 益	31,481,115	—	42,722,352	—	△ 11,241,237	△ 26.3
特 別 損 失	373,795	0.1	967,505	0.2	△ 593,710	△ 61.4
過年度損益修正損	373,795	0.1	967,505	0.2	△ 593,710	△ 61.4
当 年 度 純 利 益	31,107,320	—	41,754,847	—	△ 10,647,527	△ 25.5
前年度繰越利益剰余金	791,056	—	36,209	—	754,847	2,084.7
当年度未処分利益剰余金	31,898,376	—	41,791,056	—	△ 9,892,680	△ 23.7

(注) 構成比は総収益、総費用に対する比率である。

ア 営業損益

営業収益 5 億 4,051 万円から営業費用 5 億 1,929 万円を控除した営業利益は、2,122 万円となっている。

イ 経常損益

営業利益に営業外収益 2,884 万円及び営業外費用 1,858 万円を加減した経常利益は 3,148 万円となっている。

ウ 純損益

経常利益に特別損失 37 万円を控除した当年度純利益は、3,111 万円であり、この額に前年度繰越利益剰余金 79 万円を加えた 3,190 万円が当年度未処分利益剰余金となっている。

② 未収金の状況について

水道料金未収金の内訳は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

年度 区分		29	28	対前年度比	
				増減	増減率
現年度分	美作地区	5,711,000	5,039,105	671,895	13.3
	作東地区	2,095,512	1,577,889	517,623	32.8
	英田地区	750,389	573,090	177,299	30.9
	計	8,556,901	7,190,084	1,366,817	19.0
過年度分	美作地区	2,027,829	7,263,205	△ 5,235,376	△ 72.1
	作東地区	5,173,933	6,325,211	△ 1,151,278	△ 18.2
	英田地区	494,302	612,967	△ 118,665	△ 19.4
	計	7,696,064	14,201,383	△ 6,505,319	△ 45.8
合計		16,252,965	21,391,467	△ 5,138,502	△ 24.0

平成 29 年度末現在の水道料金の未収金は、1,625 万円であり、前年度と比べ 514 万円 (24.0%) 減少している。

平成29年度の未収金については、不能欠損処理を行ったことにより過年度分の未収金が減額したが、安易にすることなく、適正で慎重な事務処理に留意すること。

(4) 財政状況

財政の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

《資産の部》

(単位：円・%)

科目	29		28		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定資産	3,909,409,309	75.0	3,971,686,206	75.5	△ 62,276,897	△ 1.6
有形固定資産	3,890,803,429	74.7	3,948,473,550	75.0	△ 57,670,121	△ 1.5
土地	199,888,821	3.8	199,888,821	3.8	0	0.0
建物	158,014,085	3.0	163,891,248	3.1	△ 5,877,163	△ 3.6
構築物	2,760,068,723	53.0	2,790,210,393	53.0	△ 30,141,670	△ 1.1
機械及び装置	764,512,417	14.7	784,379,093	14.9	△ 19,866,676	△ 2.5
車両運搬具	4,799,763	0.1	4,521,282	0.1	278,481	6.2
工具器具及び備品	3,519,620	0.1	5,582,713	0.1	△ 2,063,093	△ 37.0
無形固定資産	18,605,880	0.4	23,212,656	0.4	△ 4,606,776	△ 19.8
水利権	860,000	0.0	1,390,000	0.0	△ 530,000	△ 38.1
施設利用権	3,399,480	0.1	4,303,056	0.1	△ 903,576	△ 21.0
ソフト使用権	14,346,400	0.3	17,519,600	0.3	△ 3,173,200	△ 18.1
流動資産	1,300,144,897	25.0	1,290,684,660	24.5	9,460,237	0.7
現金預金	1,260,533,994	24.2	1,251,048,091	23.8	9,485,903	0.8
未収金	19,607,005	0.4	22,196,467	0.4	△ 2,589,462	△ 11.7
貯蔵品	19,866,198	0.4	17,302,402	0.3	2,563,796	14.8
前払金	137,700	0.0	137,700	0.0	0	0.0
資産合計	5,209,554,206	100.0	5,262,370,866	100.0	△ 52,816,660	△ 1.0

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

科目	29		28		対前年度比	
	金額	構成	金額	構成比	増減	増減率
固定負債	502,449,014	9.6	564,991,451	10.7	△ 62,542,437	△ 11.1
企業債(建設改良等企業債)	493,406,182	9.5	555,948,619	10.6	△ 62,542,437	△ 11.2
引当金(修繕引当金)	9,042,832	0.2	9,042,832	0.2	0	0.0
流動負債	137,242,193	2.6	145,507,557	2.8	△ 8,265,364	△ 5.7
未払金	78,508,567	1.5	92,266,496	1.8	△ 13,757,929	△ 14.9
預り金	50,567,626	1.0	45,835,061	0.9	4,732,565	10.3
引当金	8,166,000	0.2	7,406,000	0.1	760,000	10.3
繰延収益	508,004,594	9.8	532,042,773	10.1	△ 24,038,179	△ 4.5
長期前受金	508,004,594	9.8	532,042,773	10.1	△ 24,038,179	△ 4.5
資本金	3,643,664,979	69.9	3,642,822,979	69.2	842,000	0.0
自己資本金	3,603,227,309	69.2	3,603,227,309	68.5	0	0.0
一般会計出資金	40,437,670	0.8	39,595,670	0.8	842,000	2.1
剰余金	418,193,426	8.0	377,006,106	7.2	41,187,320	10.9
資本剰余金	125,295,050	2.4	115,215,050	2.2	10,080,000	8.7
保険金	21,820,050	0.4	21,820,050	0.4	0	0.0
その他剰余金	103,475,000	2.0	93,395,000	1.8	10,080,000	10.8
利益剰余金	292,898,376	5.6	261,791,056	5.0	31,107,320	11.9
減債積立金	138,000,000	2.6	97,000,000	1.8	41,000,000	42.3
建設改良積立金	123,000,000	2.4	123,000,000	2.3	0	0.0
当年度未処分利益剰余金	31,898,376	0.6	41,791,056	0.8	△ 9,892,680	△ 23.7
負債・資本合計	5,209,554,206	100.0	5,262,370,866	100.0	△ 52,816,660	△ 1.0

資産総額は52億955万円で、内訳は固定資産が39億941万円、流動資産が13億14万円である。また、資産の調達資金源を示す負債及び資本の構成は、固定負債が5億245万円、流動負債が1億3,724万円、繰延収益が5億800万円、資本金が36億4366万円、剰余金が4億1,819万円となっており、負債及び資本の総額は52億955万円である。

(5) む す び

① 業務実績について

水道は、生活及び社会経済活動を支える基盤施設であると共に、「安全で安心な水道水」の安定的な供給が、快適な生活の実現及び社会の経済の維持・発展に不可欠なものとなっている。また、地域住民のライフラインとして低廉で清浄な水道水を常時安定供給していくことが使命であるが、水需要は次のとおり減少傾向にある。

本年度末における給水人口は 20,441 人、給水戸数は 9,893 戸で、前年度と比較すると給水人口は 303 人、給水戸数は 36 戸減少している。また、年間総配水量は 3,231,324 m³、有収率は 76.89%で、前年度と比較すると、配水量は 135,508 m³増加しているものの、有収率は 2.62 ポイント低下している。これは寒波の影響による配水管の破裂等が増加したためと認められる。

この様な状況下ではあるが、本年度においても、電気設備の制御盤及び水道管等の基幹設備の更新等を実施し安心・安定・安全な給水の確保に努めている。

一方、本年度における経常収支比率は 105.9%で、純利益 3,111 万円が計上されている。

② 意見及び指摘事項

今後、高度経済成長期に建設した施設、管路が経年劣化等により更新時期を迎え、更新費用の増加が見込まれるため、計画的に最小経費で最大効果を得るための検討をしながら、一層の経費削減と市民負担の公平性の観点から、新たな未収金の発生抑止に努めるなど、引き続き収入未済額の縮減に努めること。

また、社会情勢の変化による需要の動向等を見据えながら、効果的な計画を策定し、経営の効率化推進に向けて努力すること。

なお、水道料金については、依然として上水道区域と簡易水道区域とで差異が生じているため、計画的な見直しを行い、利用者の負担公平と今後の安定した施設運営を確立すること。

2 美作市病院事業会計

(1) 事業概要

1年間の業務実績は次表のとおりである。

(単位：人・%)

年度 区分	29	28	増 減	対前年度比
入 院	27,265	23,298	3,967	117.0%
外 来	29,341	29,590	△ 249	99.2%

(2) 予算の執行状況

当年度の予算執行状況は次のとおりである。

① 収益的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
病院事業収益	980,645,000	1,053,110,435	107.4	72,465,435
医業収益	771,856,000	841,731,592	109.1	69,875,592
医業外収益	208,788,000	211,378,843	101.2	2,590,843
特別利益	1,000	0	—	△ 1,000

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不用額
病院事業費用	980,645,000	911,539,008	93.0	69,105,992
医業費用	949,250,000	885,142,079	93.2	64,107,921
医業外費用	30,394,000	26,396,929	86.8	3,997,071
特別損失	1,000	0	—	1,000
予備費	1,000,000	0	—	1,000,000

収益的収入決算額 10 億 5,311 万円の内訳は医業収益 8 億 4,173 万円、医業外収益 2 億 1,138 万円であり、予算額 9 億 8,065 万円に対し 107.4%の収入率となっている。

収益的支出決算額 9 億 1,154 万円の内訳は医業費用 8 億 8,514 万円、医業外費用 2,640 万円であり、予算額 9 億 8,065 万円に対し 93.0%の執行率である。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
資 本 的 収 入	218,197,000	218,257,000	100.0	60,000
一般会計出資金	17,597,000	17,597,000	100.0	0
投資償還金	200,600,000	200,660,000	100.0	60,000

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不用額
資 本 的 支 出	244,583,000	243,576,279	99.6	1,006,721
建設改良費	9,507,000	8,500,800	89.4	1,006,200
企業債償還金	35,076,000	35,075,479	100.0	521
投 資	200,000,000	200,000,000	100.0	0

資本的収入決算額2億1,826万円で、予算に対する収入率は100.0%となっている。

資本的支出決算額は2億4,358万円で建設改良費が850万円、企業債償還金が3,508万円、投資が2億円で、予算に対する執行率は建設改良費89.4%、企業債償還金100.0%、投資100.0%である。

(3) 経営成績

① 損益計算書

当年度の経営成績は、次のとおりである。

損益計算書

(単位：円・%)

科 目	29		28		対前年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減	増減率
医 業 収 益	838,030,859	79.9	745,615,618	78.0	92,415,241	12.4
入院収益	544,551,660	51.9	465,207,285	48.7	79,344,375	17.1
外来収益	198,150,554	18.9	183,468,825	19.2	14,681,729	8.0
その他医業収益	95,328,645	9.1	96,939,508	10.1	△ 1,610,863	△ 1.7
医 業 費 用	870,281,429	95.5	829,727,322	95.4	40,554,107	4.9
給 与 費	574,239,017	63.0	565,228,060	65.0	9,010,957	1.6
材 料 費	90,828,284	10.0	74,763,204	8.6	16,065,080	21.5
経 費	131,335,442	14.4	112,396,722	12.9	18,938,720	16.8
減価償却費	72,839,793	8.0	77,044,938	8.9	△ 4,205,145	△ 5.5
資産減耗費	803,811	0.1	34,576	0.0	769,235	2224.8
研究研修費	235,082	0.0	259,822	0.0	△ 24,740	△ 9.5
医 業 損 失	32,250,570	—	84,111,704	—	△ 51,861,134	△ 61.7
医 業 外 収 益	211,231,776	20.1	210,394,841	22.0	836,935	0.4
受取利息及び配当金	934,598	0.1	1,159,715	0.1	△ 225,117	△ 19.4
他会計補助金	183,202,000	17.5	180,200,000	18.8	3,002,000	1.7
国・県補助金	4,826,000	0.5	5,147,000	0.5	△ 321,000	△ 6.2
患者外給食収益	186,617	0.0	172,259	0.0	14,358	8.3
長期前受金戻入	16,872,497	1.6	21,570,180	2.3	△ 4,697,683	△ 21.8
その他医業外収益	5,210,064	0.5	2,145,687	0.2	3,064,377	142.8
医 業 外 費 用	40,552,774	4.5	39,553,227	4.6	999,547	2.5
支払利息及び企業債取扱諸費	13,097,473	1.4	13,975,861	1.6	△ 878,388	△ 6.3
患者外給食材料費	157,740	0.0	163,853	0.0	△ 6,113	△ 3.7
院内保育所運営費	3,578,664	0.4	6,047,209	0.7	△ 2,468,545	△ 40.8
雑 支 出	18,383,897	2.0	14,031,304	1.6	4,352,593	31.0
長期前払消費税勘定償却費	5,335,000	0.6	5,335,000	0.6	0	0.0
経 常 利 益	138,428,432	—	86,729,910	—	51,698,522	59.6
特 別 損 失	0	—	0	—	0	—
当年度純利益(損失)	138,428,432	—	86,729,910	—	51,698,522	59.6
前年度繰越利益剰余金	854,509,080	—	787,779,170	—	66,729,910	8.5
当年度未処分利益剰余金	992,937,512	—	874,509,080	—	118,428,432	13.5

(注) 構成比は総収益、総費用に対する比率である。

平成 28 年度の当年度未処分利益剰余金と平成 29 年度の前年度繰越利益剰余金の差 2,000 万円は減債積立金で処理している。

ア 医業損益

医業収益8億3,803万円から医業費用8億7,028万円を控除した医業損失は3,225万円となっている。

イ 経常損益

医業損失に医業外収益2億1,123万円及び医業外費用4,055万円を加減算した経常利益は1億3,843万円となっている。

ウ 純利益

特別損失がないため、当年度純利益は1億3,843万円となっている。

前年度繰越利益剰余金8億5,451万円に当年度純利益を加算した9億9,294万円が当年度未処分利益剰余金となっている。

② 未収金について

平成29年度末現在の、美作市病院事業会計における患者負担金の未収金の状況は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

区 分 \ 年 度		29	28	対前年度比	
		金額	金額	増 減	増減率
現 年 度 分	入 院	4,500,392	4,250,769	249,623	5.9
	外 来	191,298	226,138	△ 34,840	△ 15.4
	事 故	192,469	437,571	△ 245,102	△ 56.0
	介 護	141,821	93,287	48,534	52.0
	計	5,025,980	5,007,765	18,215	0.4
過 年 度 分	入 院	3,417,242	3,175,654	241,588	7.6
	外 来	418,985	410,865	8,120	2.0
	事 故	0	0	0	—
	介 護	0	0	0	—
	計	3,836,227	3,586,519	249,708	7.0
合 計		8,862,207	8,594,284	267,923	3.1

平成29年度末現在の、患者負担金の未収金は886万円であり、前年度と比べ27万円(3.1%)増加している。

(4) 財政状況

① 財政の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

《資産の部》

(単位：円・%)

科目	29		28		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定資産	1,880,332,092	52.3	1,952,054,884	56.3	△ 71,722,792	△ 3.7
有形固定資産	1,644,084,421	45.7	1,709,812,213	49.3	△ 65,727,792	△ 3.8
土地	5,861,552	0.2	5,861,552	0.2	0	0.0
建物	1,582,054,208	44.0	1,635,825,678	47.2	△ 53,771,470	△ 3.3
構築物	4,667,334	0.1	4,770,848	0.1	△ 103,514	△ 2.2
機械備品	49,882,059	1.4	62,459,357	1.8	△ 12,577,298	△ 20.1
車両運搬具	1,619,268	0.0	894,778	0.0	724,490	81.0
投資その他の資産	236,247,671	6.6	242,242,671	7.0	△ 5,995,000	△ 2.5
投資有価証券	200,000,000	5.6	200,660,000	5.8	△ 660,000	△ 0.3
長期前払消費税	36,247,671	1.0	41,582,671	1.2	△ 5,335,000	△ 12.8
流動資産	1,714,271,791	47.7	1,513,899,886	43.7	200,371,905	13.2
現金預金	1,577,837,107	43.9	1,395,264,439	40.3	182,572,668	13.1
未収金	132,137,172	3.7	114,803,030	3.3	17,334,142	15.1
貯蔵品	4,297,512	0.1	3,832,417	0.1	465,095	12.1
前払金	0	0.0	0	0.0	0	—
資産合計	3,594,603,883	100.0	3,465,954,770	100.0	128,649,113	3.7

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

科目	29		28		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定負債	800,358,859	22.3	808,129,638	23.3	△ 7,770,779	△ 1.0
企業債	626,236,779	17.4	636,312,258	18.4	△ 10,075,479	△ 1.6
引当金	174,122,080	4.8	171,817,380	5.0	2,304,700	1.3
退職給与引当金	140,632,330	3.9	140,827,630	4.1	△ 195,300	△ 0.1
特別修繕引当金	33,489,750	0.9	30,989,750	0.9	2,500,000	8.1
流動負債	93,932,561	2.6	96,665,604	2.8	△ 2,733,043	△ 2.8
企業債	0	0.0	25,000,000	0.7	△ 25,000,000	△100.0
未払金	67,363,561	1.9	44,766,433	1.3	22,597,128	50.5
引当金(賞与引当金)	26,569,000	0.7	26,892,000	0.8	△ 323,000	△ 1.2
預り金	0	0.0	7,171	0.0	△ 7,171	△100.0
繰延収益(長期前受金)	232,884,187	6.5	249,756,684	7.2	△ 16,872,497	△ 6.8
資本金	1,321,257,295	36.8	1,303,660,295	37.6	17,597,000	1.3
自己資本金	1,321,257,295	36.8	1,303,660,295	37.6	17,597,000	1.3
剰余金	1,146,170,981	31.9	1,007,742,549	29.1	138,428,432	13.7
資本剰余金	49,253,665	1.4	49,253,665	1.4	0	0.0
国・県補助金	6,084,760	0.2	6,084,760	0.2	0	0.0
負担金	43,168,905	1.2	43,168,905	1.2	0	0.0
利益剰余金	1,096,917,316	30.5	958,488,884	27.7	138,428,432	14.4
減債積立金	95,000,000	2.6	75,000,000	2.2	20,000,000	26.7
利益積立金	8,979,804	0.2	8,979,804	0.3	0	0.0
当年度未処分利益剰余金	992,937,512	27.6	874,509,080	25.2	118,428,432	13.5
負債・資本合計	3,594,603,883	100.0	3,465,954,770	100.0	128,649,113	3.7

資産総額は35億9,460万円で、内訳は固定資産が18億8,033万円、流動資産が17億1,427万円である。また、資産の調達資金源を示す負債及び資本の構成は、固定負債が8億36万円、流動負債が9,393万円、繰延収益が2億3,288万円、資本金が13億2,126万円、剰余金が11億4,617万円となっており、負債及び資本の総額は35億9,460万円である。

(5) む す び

① 業務実績について

本年度末における患者数は、入院が 27,265 人、外来が 29,341 人であった。前年度と比較すると入院が 3,967 人増加、外来が 249 人の減少となっている。

収益的には入院収入が前年比 7,934 万円の増、外来収入が前年比 1,468 万円の増となっている。

収益的収支は、収益決算額が 10 億 4,926 万円、対前年比 9,325 万円の増、費用決算額は 9 億 1,083 万円、対前年比 4,155 万円の増となった。

主な内訳については、収益では、他会計補助金が 300 万円の増、その他医業外収益が 306 万円の増、費用面では、給与費が 901 万円の増、材料費が 1,607 万円の増、経費のうち修繕費が 798 万円、燃料費が 604 万円の増などとなっており、当年度は 1 億 3,843 万円の純利益となっている。

資本的収支については、機械備品購入費として尿化学分析装置等を 850 万円で更新している。また、企業債償還金 3,508 万円を執行している。

時間外における診療件数は 1,485 件、救急搬送件数は 194 件であった。前年度と比較すると診療件数は 108 件増加、救急搬送件数は 29 件減少している。

人口減少、国民総医療費の削減など病院経営をめぐる環境の厳しさに加え、医師不足や看護師不足など、医療現場においても厳しい状況が続いている中で、これらの解消にむけて平成 22 年度より地域医療臨床研修協力病院として、研修医の受入を開始するなどの努力をしており、本年度においては、臨床研修医を 17 名、医学部学生を 3 名受け入れている。

② 意見及び指摘事項

美作市唯一の公立病院として、この病院に課せられた重大な使命を充分認識し、予防及び福祉医療を含めた包括医療も実践しながら、医師不足、看護師不足の中で、精一杯の運営努力をしていることを高く評価するとともに、今後も職員一人一人が日々の自己研鑽を重ね、真摯に業務に取り組むこと。

3 美作市下水道事業会計

(1) 事業概要

1年間の業務実績は次表のとおりである。

項目 \ 年度	単位	29	28	増 減	対前年度比 (%)
水洗化世帯	世帯	10,227	10,198	29	100.3
処理人口	人	27,583	27,995	△ 412	98.5
水洗化人口	人	24,185	24,466	△ 281	98.9
水洗化率	%	87.7	87.4	0.3	100.3
計画面積	ha	1,778	1,778	0	100.0
整備面積	ha	1,516	1,516	0	100.0
処理面積	ha	1,516	1,516	0	100.0
汚水管渠延長	km	606	606	0	100.0
雨水管渠延長	km	2	2	0	100.0
総処理水量	m ³	3,144,534	3,168,256	△ 23,722	99.3
一日平均処理水量	m ³	8,615	8,680	△ 65	99.3
総有収水量	m ³	2,908,087	2,877,916	30,171	101.0
一日平均有収水量	m ³	7,967	7,885	82	101.0

(2) 予算の執行状況

当年度の予算執行状況は次のとおりである。

① 収益的収入及び支出

≪収入≫

(単位:円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収 入 率	構 成 比 率	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減
公 共 下 水 道 事 業 収 益	556,024,000	558,667,001	100.5	20.5	2,643,001
営 業 収 益	175,028,000	175,551,963	100.3	6.4	523,963
営 業 外 収 益	380,995,000	383,115,038	100.6	14.0	2,120,038
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 事 業 収 益	1,551,263,000	1,554,824,017	100.2	57.0	3,561,017
営 業 収 益	247,503,000	242,327,256	97.9	8.9	△ 5,175,744
営 業 外 収 益	1,303,759,000	1,312,365,579	100.7	48.1	8,606,579
特 別 利 益	1,000	131,182	13118.2	0.0	130,182
農 業 集 落 排 水 事 業 収 益	547,293,000	551,208,861	100.7	20.2	3,915,861
営 業 収 益	62,402,000	63,225,863	101.3	2.3	823,863
営 業 外 収 益	484,890,000	487,982,998	100.6	17.9	3,092,998
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
小 規 模 集 合 排 水 処 理 事 業 収 益	17,238,000	16,181,197	93.9	0.6	△ 1,056,803
営 業 収 益	2,581,000	1,461,930	56.6	0.1	△ 1,119,070
営 業 外 収 益	14,656,000	14,719,267	100.4	0.5	63,267
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
個 別 排 水 処 理 事 業 収 益	28,094,000	28,267,731	100.6	1.0	173,731
営 業 収 益	8,601,000	8,035,495	93.4	0.3	△ 565,505
営 業 外 収 益	19,492,000	20,232,236	103.8	0.7	740,236
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
生 活 排 水 処 理 事 業 収 益	19,779,000	18,979,860	96.0	0.7	△ 799,140
営 業 収 益	6,801,000	5,707,636	83.9	0.2	△ 1,093,364
営 業 外 収 益	12,977,000	13,272,224	102.3	0.5	295,224
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
合 計	2,719,691,000	2,728,128,667	100.3	100.0	8,437,667

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	構 成 比 率	不 用 額
公共下水道事業費用	578,940,000	571,192,916	98.7	20.5	7,747,084
営業費用	487,923,000	481,799,713	98.7	17.3	6,123,287
営業外費用	89,417,000	89,228,108	99.8	3.2	188,892
特別損失	600,000	165,095	27.5	0.0	434,905
予備費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
特定環境保全公共下水道事業費用	1,590,920,000	1,573,867,079	98.9	56.5	17,052,921
営業費用	1,346,122,000	1,330,550,709	98.8	47.8	15,571,291
営業外費用	243,198,000	243,166,585	100.0	8.7	31,415
特別損失	600,000	149,785	25.0	0.0	450,215
予備費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
農業集落排水事業費用	575,412,000	572,661,394	99.5	20.6	2,750,606
営業費用	496,099,000	494,592,623	99.7	17.8	1,506,377
営業外費用	78,013,000	77,991,487	100.0	2.8	21,513
特別損失	300,000	77,284	25.8	0.0	222,716
予備費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
小規模集合排水処理事業費用	18,339,000	16,490,973	89.9	0.6	1,848,027
営業費用	14,222,000	12,529,499	88.1	0.5	1,692,501
営業外費用	3,967,000	3,960,535	99.8	0.1	6,465
特別損失	50,000	939	1.9	0.0	49,061
予備費	100,000	0	—	0.0	100,000
個別排水処理事業費用	32,913,000	31,220,888	94.9	1.1	1,692,112
営業費用	29,692,000	28,208,669	95.0	1.0	1,483,331
営業外費用	3,071,000	3,008,461	98.0	0.1	62,539
特別損失	50,000	3,758	7.5	0.0	46,242
予備費	100,000	0	—	0.0	100,000
生活排水処理事業費用	20,245,000	18,673,048	92.2	0.7	1,571,952
営業費用	18,329,000	16,913,770	92.3	0.6	1,415,230
営業外費用	1,766,000	1,759,278	99.6	0.1	6,722
特別損失	50,000	0	—	0.0	50,000
予備費	100,000	0	—	0.0	100,000
合 計	2,816,769,000	2,784,106,298	98.8	100.0	32,662,702

収益的収入の決算額は27億2,813万円で収入率が100.3%、収益的支出の決算額は27億8,411万円で執行率が98.8%である。

収入の構成比率は、公共下水道事業収益が20.5%、特定環境保全公共下水道事業収益が57.0%、農業集落排水事業収益が20.2%、小規模集合排水処理事業収益が0.6%、個別排水処理事業収益が1.0%、生活排水処理事業収益が0.7%である。

支出の構成比率は、公共下水道事業費用が20.5%、特定環境保全公共下水道事業費用が56.5%、農業集落排水事業費用が20.6%、小規模集合排水処理事業費用が0.6%、個別排水処理事業費用が1.1%、生活排水処理事業費用が0.7%である。

② 資本的收入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
公共下水道事業資本的収入	318,923,000	231,119,299	72.5	△ 87,803,701
出 資 金	174,455,000	167,555,000	96.0	△ 6,900,000
企 業 債	117,500,000	58,800,000	50.0	△ 58,700,000
補 助 金	25,000,000	4,754,000	19.0	△ 20,246,000
負 担 金	1,958,000	0	0.0	△ 1,958,000
基 金 収 入	10,000	10,299	103.0	299
特定環境保全公共下水道事業資本的収入	472,063,000	466,363,732	98.8	△ 5,699,268
出 資 金	353,484,000	353,484,000	100.0	0
企 業 債	116,000,000	112,600,000	97.1	△ 3,400,000
負 担 金	2,400,000	100,000	4.2	△ 2,300,000
基 金 収 入	179,000	179,732	100.4	732
農業集落排水事業資本的収入	146,236,000	145,135,978	99.2	△ 1,100,022
出 資 金	144,627,000	144,627,000	100.0	0
負 担 金	1,200,000	100,000	8.3	△ 1,100,000
基 金 収 入	409,000	408,978	100.0	△ 22
小規模集合排水処理事業資本的収入	5,649,000	5,349,000	94.7	△ 300,000
出 資 金	5,349,000	5,349,000	100.0	0
負 担 金	300,000	0	0.0	△ 300,000
個別排水処理事業資本的収入	10,687,000	9,186,754	86.0	△ 1,500,246
出 資 金	3,086,000	3,086,000	100.0	0
企 業 債	7,000,000	6,100,000	87.1	△ 900,000
負 担 金	600,000	0	0.0	△ 600,000
基 金 収 入	1,000	754	75.4	△ 246
生活排水処理事業資本的収入	563,000	560,267	99.5	△ 2,733
出 資 金	558,000	558,000	100.0	0
基 金 収 入	5,000	2,267	45.3	△ 2,733
合 計	954,121,000	857,715,030	89.9	△ 96,405,970

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率	不用額
公共下水道事業資本的支出	485,659,000	401,890,688	82.8	83,768,312
建設改良費	164,500,000	80,733,240	49.1	83,766,760
企業債償還金	321,148,000	321,147,149	100.0	851
積立金	11,000	10,299	93.6	701
特定環境保全公共下水道事業資本的支出	1,109,292,000	1,098,978,083	99.1	10,313,917
建設改良費	147,040,000	136,728,000	93.0	10,312,000
企業債償還金	962,071,000	962,070,351	100.0	649
積立金	181,000	179,732	99.3	1,268
農業集落排水事業資本的支出	338,301,000	337,506,695	99.8	794,305
建設改良費	2,188,000	1,396,440	63.8	791,560
企業債償還金	335,702,000	335,701,277	100.0	723
積立金	411,000	408,978	99.5	2,022
小規模集合排水処理事業資本的支出	14,053,000	13,752,453	97.9	300,547
建設改良費	300,000	0	0.0	300,000
企業債償還金	13,753,000	13,752,453	100.0	547
個別排水処理事業資本的支出	16,146,000	15,194,757	94.1	951,243
建設改良費	7,100,000	6,150,600	86.6	949,400
企業債償還金	9,044,000	9,043,403	100.0	597
積立金	2,000	754	37.7	1,246
生活排水処理事業資本的支出	3,193,000	3,188,371	99.9	4,629
企業債償還金	3,187,000	3,186,104	100.0	896
積立金	6,000	2,267	37.8	3,733
合 計	1,966,644,000	1,870,511,047	95.1	96,132,953

資本的収入決算額 8 億 5,772 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 2 億 3,112 万円、特定環境保全公共下水道事業 4 億 6,636 万円、農業集落排水事業 1 億 4,514 万円、小規模集合排水処理事業 535 万円、個別排水処理事業 919 万円、生活排水処理事業 56 万円であり、予算額 9 億 5,412 万円に対し収入率は 89.9%となっている。

資本的支出決算額 18 億 7,051 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 4 億 189 万円、特定環境保全公共下水道事業 10 億 9,898 万円、農業集落排水事業 3 億 3,751 万円、小規模集合排水処理事業 1,375 万円、個別排水処理事業 1,519 万円、生活排水処理事業 319 万円であり、予算額 19 億 6,664 万円に対し執行率は 95.1%となっている。なお、公共下水道事業では建設改良費の不用額 8,377 万円の内の 6,600 万円を繰越しておりこれを参入すると執行率は 98.5%となる。

(3) 経営成績

① 損益計算書

当年度の経営成績は、次のとおりである。

損益計算書

(単位：円・%)

年度 科目	29		28		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
営業収益	460,956,129	17.2	428,676,083	16.0	32,280,046	7.5
下水道使用料	442,279,585	16.5	411,499,924	15.4	30,779,661	7.5
他会計負担金	3,125,000	0.1	3,261,000	0.1	△ 136,000	△ 4.2
受託工事収益	15,406,200	0.6	13,867,200	0.5	1,539,000	11.1
その他の営業収益	145,344	0.0	47,959	0.0	97,385	203.1
営業費用	2,323,946,260	84.4	2,317,542,220	83.2	6,404,040	0.3
管渠費	76,606,050	2.8	73,291,238	2.6	3,314,812	4.5
ポンプ場費	1,704,211	0.1	698,712	0.0	1,005,499	143.9
処理場費	369,087,395	13.4	352,280,400	12.7	16,806,995	4.8
浄化槽費	28,109,266	1.0	27,335,193	1.0	774,073	2.8
受託工事費	14,265,000	0.5	12,840,000	0.5	1,425,000	11.1
総係費	115,030,769	4.2	117,967,488	4.2	△ 2,936,719	△ 2.5
減価償却費	1,707,972,348	62.1	1,732,635,577	62.2	△ 24,663,229	△ 1.4
資産減耗費	11,171,221	0.4	493,612	0.0	10,677,609	2,163.2
営業損失	1,862,990,131	—	1,888,866,137	—	△ 25,876,006	△ 1.4
営業外収益	2,218,665,660	82.8	2,243,184,314	83.9	△ 24,518,654	△ 1.1
受取利息及び配当金	6,715	0.0	15,845	0.0	△ 9,130	△ 57.6
他会計負担金	1,376,305,000	51.4	1,384,943,000	51.8	△ 8,638,000	△ 0.6
他会計補助金	198,759,000	7.4	205,524,000	7.7	△ 6,765,000	△ 3.3
長期前受金戻入	643,574,295	24.0	652,656,769	24.4	△ 9,082,474	△ 1.4
雑収益	20,650	0.0	44,700	0.0	△ 24,050	△ 53.8
営業外費用	427,995,789	15.6	465,652,412	16.7	△ 37,656,623	△ 8.1
支払利息及び企業債取扱諸費	419,114,454	15.2	454,656,377	16.3	△ 35,541,923	△ 7.8
雑支出	8,881,335	0.3	10,996,035	0.4	△ 2,114,700	△ 19.2
経常損失	72,320,260	—	111,334,235	—	△ 39,013,975	△ 35.0
特別利益	121,374	0.0	261,740	0.0	△ 140,366	△ 53.6
過年度損益修正益	121,374	0.0	261,740	0.0	△ 140,366	△ 53.6
固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	—
特別損失	368,273	0.0	902,355	0.0	△ 534,082	△ 59.2
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	—
過年度損益修正損	368,273	0.0	902,355	0.0	△ 534,082	△ 59.2
固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	—
当年度純損失	72,567,159	—	111,974,850	—	△ 39,407,691	△ 35.2
前年度繰越欠損金	1,840,601,058	—	1,728,626,208	—	111,974,850	6.5
当年度未処理欠損金	1,913,168,217	—	1,840,601,058	—	72,567,159	3.9

(注) 構成比は総収益、総費用に対する比率である。

ア 営業損益

営業収益 4 億 6,096 万円から営業費用 23 億 2,395 万円を控除した営業損失は、18 億 6,299 万円となっている。

イ 経常損益

営業損失に営業外収益 22 億 1,867 万円及び営業外費用 4 億 2,800 万円を加減算した経常損失は、7,232 万円となっている。

ウ 純損益

経常損失に特別利益 12 万円及び特別損失 37 万円を加減算した当年度純損失は、7,257 万円となっている。

② 未収金の状況について

ア 下水道分担金・負担金の未収金状況は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分		年度		対前年度比	
		29	28	増減	増減率
現 年 度 分	公共下水道負担金	0	0	0	—
	特定環境保全公共下水道負担金	100,000	0	100,000	皆増
	農業集落排水事業分担金	0	0	0	—
	小規模集合排水事業分担金	0	0	0	—
	個別排水事業分担金	0	0	0	—
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	100,000	0	100,000	皆増
過 年 度 分	公共下水道負担金	10,693,590	10,743,590	△ 50,000	△ 0.5
	特定環境保全公共下水道負担金	13,189,630	13,495,630	△ 306,000	△ 2.3
	農業集落排水事業分担金	6,002,400	6,022,400	△ 20,000	△ 0.3
	小規模集合排水事業分担金	449,600	449,600	0	0.0
	個別排水事業分担金	283,000	283,000	0	0.0
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	30,618,220	30,994,220	△ 376,000	△ 1.2
合 計		30,718,220	30,994,220	△ 276,000	△ 0.9

イ 下水道使用料の未収金状況は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

区 分		年 度		対前年度比	
		29	28	増 減	増減率
現 年 度 分	公 共 下 水 道 使 用 料	16,814,695	15,660,877	1,153,818	7.4
	特定環境保全公共下水道使用料	20,916,568	19,244,151	1,672,417	8.7
	農 業 集 落 排 水 使 用 料	5,653,820	4,913,370	740,450	15.1
	小 規 模 集 合 排 水 使 用 料	175,448	161,413	14,035	8.7
	個 別 排 水 使 用 料	897,923	629,819	268,104	42.6
	生 活 排 水 使 用 料	568,901	527,738	41,163	7.8
	計	45,027,355	41,137,368	3,889,987	9.5
過 年 度 分	公 共 下 水 道 使 用 料	884,968	5,060,908	△ 4,175,940	△ 82.5
	特定環境保全公共下水道使用料	805,536	744,985	60,551	8.1
	農 業 集 落 排 水 使 用 料	810,507	776,936	33,571	4.3
	小 規 模 集 合 排 水 使 用 料	8,767	8,767	0	0.0
	個 別 排 水 使 用 料	0	1,814	△ 1,814	皆減
	生 活 排 水 使 用 料	14,255	0	14,255	皆増
	計	2,524,033	6,593,410	△ 4,069,377	△ 61.7
合 計		47,551,388	47,730,778	△ 179,390	△ 0.4

平成29年度末現在の下水道分担金・負担金の未収金は、3,072万円で前年度と比べると28万円(0.9%)減少している。下水道使用料の未収金は、4,755万円で前年度と比べると18万円(0.4%)減少している。平成29年度の未収金については、不能欠損処理を行ったことにより過年度分の未収金が減額したが、安易にすることなく、適正で慎重な事務処理に留意すること。

(4) 財政状況

財政の状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

《資産の部》

(単位：円・%)

年度 科目	29		28		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定資産	46,135,547,217	98.5	47,645,465,356	99.0	△ 1,509,918,139	△ 3.2
有形固定資産	45,479,804,404	97.1	46,990,324,573	97.6	△ 1,510,520,169	△ 3.2
土地	779,982,375	1.7	779,982,375	1.6	0	0.0
建物	1,570,187,298	3.4	1,614,649,804	3.4	△ 44,462,506	△ 2.8
構築物	39,031,145,822	83.3	40,051,041,316	83.2	△ 1,019,895,494	△ 2.5
機械及び装置	4,050,098,784	8.6	4,515,309,470	9.4	△ 465,210,686	△ 10.3
車両運搬具	29,833,726	0.1	1,310,989	0.0	28,522,737	2,175.7
工具器具及び備品	18,556,399	0.0	19,550,619	0.0	△ 994,220	△ 5.1
建設仮勘定	0	0.0	8,480,000	0.0	△ 8,480,000	皆減
投資	655,742,813	1.4	655,140,783	1.4	602,030	0.1
投資有価証券	100,000,000	0.2	0	0.0	100,000,000	皆増
基金	535,548,851	1.1	634,946,821	1.3	△ 99,397,970	△ 15.7
建設基金	179,501,164	0.4	279,271,569	0.6	△ 99,770,405	△ 35.7
償還基金	356,047,687	0.8	355,675,252	0.7	372,435	0.1
その他投資	20,193,962	0.0	20,193,962	0.0	0	0.0
流動資産	694,478,074	1.5	499,335,589	1.0	195,142,485	39.1
現金預金	597,536,581	1.3	392,862,309	0.8	204,674,272	52.1
未収金	85,441,493	0.2	106,473,280	0.2	△ 21,031,787	△ 19.8
未収金	105,321,560	0.2	130,446,280	0.3	△ 25,124,720	△ 19.3
貸倒引当金	△ 19,880,067	△ 0.0	△ 23,973,000	△ 0.0	4,092,933	△ 17.1
前払金	11,500,000	0.0	0	0.0	11,500,000	皆増
資産合計	46,830,025,291	100.0	48,144,800,945	100.0	△ 1,314,775,654	△ 2.7

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

年度 科目	29		28		対前年度	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
固定負債(企業債)	18,311,438,381	39.1	21,301,259,818	44.2	△ 2,989,821,437	△ 14.0
流動負債	1,915,692,925	4.1	204,720,718	0.4	1,710,972,207	835.8
企業債	1,603,066,306	3.4	80,645,606	0.2	1,522,420,700	1,887.8
未払金	305,167,619	0.7	116,171,112	0.2	188,996,507	162.7
引当金(賞与引当金)	7,459,000	0.0	7,904,000	0.0	△ 445,000	△ 5.6
繰延収益	16,173,493,730	34.5	16,812,314,025	34.9	△ 638,820,295	△ 3.8
長期前受金	27,999,388,669	59.8	28,041,750,758	58.2	△ 42,362,089	△ 0.2
長期前受金収益化累計額	△11,825,894,939	△25.3	△11,229,436,733	△23.3	△ 596,458,206	5.3
資本金	11,810,826,625	25.2	11,136,167,625	23.1	674,659,000	6.1
自己資本金	11,810,826,625	25.2	11,136,167,625	23.1	674,659,000	6.1
固有資本金	5,440,829,625	11.6	5,440,829,625	11.3	0	0.0
繰入資本金	6,369,997,000	13.6	5,695,338,000	11.8	674,659,000	11.8
剰余金	△ 1,381,426,370	△ 2.9	△ 1,309,661,241	△ 2.7	△ 71,765,129	5.5
資本剰余金	531,741,847	1.1	530,939,817	1.1	802,030	0.2
国庫補助金	352,620,491	0.8	352,620,491	0.7	0	0.0
県補助金	37,182,847	0.1	37,182,847	0.1	0	0.0
分担金及び負担金	110,787,135	0.2	110,587,135	0.2	200,000	0.2
その他資本剰余金	31,151,374	0.1	30,549,344	0.1	602,030	2.0
欠損金	1,913,168,217	4.1	1,840,601,058	3.8	72,567,159	3.9
前年度未処理欠損金	1,840,601,058	3.9	1,728,626,208	3.6	111,974,850	6.5
当年度未処理欠損金	72,567,159	0.2	111,974,850	0.2	△ 39,407,691	△ 35.2
負債・資本合計	46,830,025,291	100.0	48,144,800,945	100.0	△ 1,314,775,654	△ 2.7

資産総額は468億3,003万円で、内訳は固定資産が461億3,555万円、流動資産が6億9,448万円である。また、資産の調達資金源を示す負債及び資本の構成は、固定負債が183億1,144万円、流動負債が19億1,569万円、繰延収益が161億7,349万円、資本金が118億1,083万円、剰余金が△13億8,143万円である。

(5) む す び

① 業務実績について

下水道事業の目的は、公共用水域の水質保全を図り、身近な自然環境に与える負荷を軽減し、快適な生活環境を提供することである。

美作市の下水道事業は、昭和 52 年に美作地域で着手してから毎年整備を進め、その処理区域面積は 1,516ha となり、美作市内すべての下水道整備を完了した。

本年度末における水洗化人口は 24,185 人、水洗化世帯は 10,227 世帯であり、前年度と比較すると、水洗化人口は 281 人減少、水洗化世帯は 29 世帯増加している。これは、整備完了に伴い水洗化の世帯数が少しずつ増加しているものであり、年間総処理水量は、3,144,534 m³、年間総有収水量は、2,908,087 m³であり、前年度と比較すると年間総処理水量は 23,722 m³減少しているが、年間総有収水量は 30,171 m³増加している。

平成 21 年度に、経営内容の透明化及び使用料の適正化並びにコスト・管理の縮減を目指して、地方公営企業に移行し、独立採算の形態で事業を運営することとした下水道会計であるが、依然として一般会計からの補助金等でまかなわれている。一般会計からの繰入金は 15 億 7,819 万円であり、収益合計の 58.9%を占めている。そのうち基準外繰入は 1 億 9,876 万円で、収益合計の 7.4%となっている。

なお、純損失は 7,257 万円（累積未処理欠損金 19 億 1,317 万円）となっているが、その内 17 億 797 万円は減価償却費計上に係るものである。

② 意見と指摘事項

現在使用中の施設は耐用年数の経過に伴う老朽化により、維持修繕費が増加傾向にある。このため施設の統廃合を推進し、未水洗世帯に対する水洗化の啓蒙を行い、使用料収入の確保及び未収金回収の強化による収納率の向上や、効率的な設備維持管理を行い、徹底した経費の削減を図るほか、不明水対策についても現在取り組んでいるところであるが、できるだけ早期に設備の改修を図ること。